

平成 27 年度事業計画

その 1) 資本の充実を図るため、積極的な事業計画のもと公益目的の収益事業を遂行する個々の協力体制を図る件。具体的には、個々の知見を集合する意見集約の機会、理事会の開催等を以て協力体制強化を目指すこととする。



- 1) 公益法人の収益事業を増やす：広く当法人の公益に資する活動を知らしめる効果が期待できる事業を積極的に推進する。
 - ・目的：事務運営を円滑にするための専従者の雇用をすすめる。
 - ・事務所の設置：政治研究会との連携及び付随する経連等の活動を支援するロビー活動の事業推進に不可欠な永田町近接場所（周辺）にサテライトオフィスの準備にかかる。
- 2) 事業の柱を以下のA～Fを平成 27 年度方針に定め邁進する。
 - A. セミナー事業
 - B. 顕彰事業
 - C. 寄付募金事業

D. シンボルマーク公募事業

E. グッズ・バッチ販売事業

F. 出版事業

・事業実施に必要な手段：「寄付が節税になる。わかりやすくホームページの改編」

① ホームページのリニューアルを早期に進め、広く活動を知らしめる方法等（ニコニコ動画など含むメディア出演や動画を撮影リアルタイムに流す、FB、Twitter、ソーシャルメディア、理事 Blog など）を講じられるワードプレス方式に改編する。

② 議連及びロビー活動等（トピック）の発信：

例：舛添東京都知事と議連会長額賀先生の会談など。

3月30日 朝10：55～。

③ 砂田理事長 及び理事全員の持ち回り Blog 頁の設置。

一般向けの平易な文章記述として編集。

④ HP リニューアルコスト：企画見積競争（2社）の結果、

・制作委託予算：初年度2万円（税込）、更新5千円（税込）方針で進める。

・サンプル画像：<http://blp.jp/k28/>

その2）理事は各々が関係する人脈を利して賛助会員，一般会員を一致協力して積極的に募る。

1） 現在理事数：14名（理事推薦により）20名目標に新理事6名の増員を図る。

2） 賛助会員（寄付が節税になる御理解をアピールして、法人賛助会員10社目標に進める。

3） 一般会員（募金箱設置100ヶ所（目標）、ネット会員、セミナー講演会、出版記念会（夏頃予定）、バッチ販売等を通じ積極的に会員募集を進める。

その3）専従者の雇用、且つ事務所の必要性（経費を捻出するためにも早急な資本の充実）について年間収支予想等の事業計画を協議して決定する。

・事業（A～F）収入目標：3000万円以上を目標に達成可能な事業を推進する。

・専従者1名雇用の用務内容：総務、公益所轄内閣府連絡調整業務、日常会計事務他、スケジュール管理事務の円滑化をすすめる。

付則：実現目標ロードマップ（次頁参照）



2020年東京オリンピック年の実現を目指して

～目標・ロードマップ視覚化～

来年度2015年度実証訓練予算確保、(研究・実践・検証)

